FRUiTS
11
1997
フルーツ
STREET 11月号増刊号
No.4
500yen
SILVER SURFER SAYS
277
interview
シンイチロウ アラカワ
原宿フリースタイル

原宿 Free Style

スモック：クラッチ
スカート：クラッチ
パンツ：クラッチ
シューズ：クラッチ
バッグ：実家の近所のスポーツ屋
ファッションのポイント：学生カバン
美容室：2030
今ハマッている事：ジグソーパズル
好きな音楽：パンク
19才、販売員

ワンピース：自作ワンピ
指輪：自作（bàttery）
帽子：O.D.O.B
ファッションのポイント：チャイルドパンク
美容室：切ってナイ…
今ハマッている事：手芸♡
好きな音楽：パンク
しのブ（18才）、高校生
BELLY
BELLY
BELLY BUTTON
TOKYO BOPPER

シャツ：？
パンツ：自作
シューズ：ビルエアーで
バッグ：文化屋雑貨店のものに手を加えた
ファッションのポイント：えりを安全ピンで止めて丸えりぽく
美容室：自分
今ハマッている事：花火
好きな音楽：ジャズ
あべかつ（19才）、大学生

ベスト：J.P.ゴルチエ
ワンピース：J.P.ゴルチエ
シューズ：SWEAR
アクセサリー：GALALA
美容室：チャオ バンビーナ
今ハマッている事：物作り
好きな音楽：ラテン、ジャズ、ソウル
20才、フリーター

ロングシャツ：フリーマーケットのお客さんのイラン人の方からのもらいもの
スカート：ママグッズなのでよくわかりません
シューズ：アンテナで買ったけど、どっかでも安く売ってるらしい
ファッションのポイント：どこの国？
美容室：友達
今ハマッている事：友達
好きな音楽：何でも
あっきー（19才）、専門学校生

シャツ：古着
パンツ：自作（改造）
シューズ：ロボット（ラバーソール）
ファッションのポイント：パンク
美容室：バリカンひとつ
今ハマッている事：SAX
好きな音楽：スカコア
くま（19才）、無職

シャツ：ミルクボーイ
スカート：古着
バッグ：自分で作った
ファッションのポイント：ロリータぽく
美容室：JiB
ヒノ（17才）、高校生

ワンピース：子供用のゆかた
後はサンタモニカの古着
ファッションのポイント：SALE用
美容室：アバリエ
今ハマっている事：麻雀
好きな音楽：パンク、オルタナ
29才、サンタモニカ販売員

パンツ：友達からもらった
ファッションのポイント：民族っぽく
美容室：SLUG
18才、高校生

シャツ：てきとうに下北
パンツ：地もとで3年前のふるいの
シューズ：地元さっ♡
ファッションのポイント：ない
美容室：自己流
今ハマッている事：人みているのだ
好きな音楽：そのへんの曲
19才、専門学校生

シャツ：ヒステリックグラマー
青のホルターネック：昨夜作った。
パンツ：切りっぱなし
ソックス：ルーズ!!!!
アクセサリー：手作り
ファッションのポイント：ルーズソックスとちょんまげ
美容室：SHIMA原宿店
今ハマッている事：日々の幸せ
好きな音楽：ゴア
くみ（19才）、専門学校生

??? 目の横のペイントは ???
--- 蛍光ペンで描きました。ゴアっぽいメイクを研究中 ---

Gジャン：古着
パンツ：BIG JOHN（月光クロージング製）
シューズ：Buffalo
ファッションのポイント：自転車とのコーディネイト
美容室：自分
今ハマッている事：お料理
好きな音楽：ハウス、トランス、etc.すべてのジャンル
23才、プレス

Gジャン：BIG JOHN
パンツ：BIG JOHN（月光クロージング製）
ファッションのポイント：自転車スタイル
美容室：自分
今ハマッている事：マニキュア（ネイルアート）
好きな音楽：民族もの（エスニック）
29才、スタイリスト

シャツ：卓矢エンジェル
スカート：卓矢エンジェル
シューズ：文化屋雑貨店で
ファッションのポイント：浅草で買った傘
今ハマッている事：川で泳ぐ
好きな音楽：洋楽
17才、高校生

ワンピース：W<
シューズ：コージ クガ
バック：W<
ファッションのポイント：髪の色とワンピースの色を合わせたところ
美容室：Bloom
今ハマッている事：部屋をかわいくすること
好きな音楽：テクノ
18才、大学生

ブラウス：20471120
パンツ：？
シューズ：コージ クガ
ファッションのポイント：オレンジっぽい
美容室：友達にやってもらった
今ハマッている事：写真
好きな音楽：パンク（ガールズ）
ヨシエ（19才）、専門学校生
--- 舌にピアスしたので、それも撮って下さい。---

シャツ：マサキ マツシマ
パンツ：マサキ マツシマ
シューズ：地元のげた屋さん
バッグ：手作り
美容室：ヤスエさん
18才、高校生

シャツ：古着を自分で改造
パンツ：クリストファー ネメス
シューズ：ロボット
ファッションのポイント：PUNK
美容室：VOLUME
今ハマッている事：PUNK Oi
好きな音楽：PUNK
21才、販売員

キャミソール：オゾンコミュニティー
毛糸のキャミ：ヒステリックグラマー
スカート：スーパーハッカ
ファッションのポイント：髪の
美容室：GIRL LOVES BOY
今ハマッている事：彼
好きな音楽：カスケード
16才、高校生

シャツ：古着
パンツ：古着
シューズ：改造した
ファッションのポイント：てきとう
美容室：ソラリス
今ハマッている事：旅
好きな音楽：ハッピーハードコア
ポツ（19才）、ソラリス美容師

--- 部屋の取材はやらないんですか？
FR：じゃ、やってみようか。

関繁くんの部屋自慢

ブラックライト

ブラックライトの横のプラスチックのコイルには蛍光カラーのプラスチックリングが通してある。ブラックライトに光るリングが、ゆっくり回りながら落ちるのを楽しむ。グッドアイデア。

フローリングの床にビニールシート。冬はとても冷たい。

使徒のような頭の、過激なヘアースタイルが止まらない関繁君の部屋。専門学校でインテリアを勉強中。ポップなロンドンのお店風の部屋。ブラックライトにプラスチックコイルのアイデアはイタダキ。

くつろぐ関繁君。

おまけ。

トイレグッズは赤、ライトも赤。

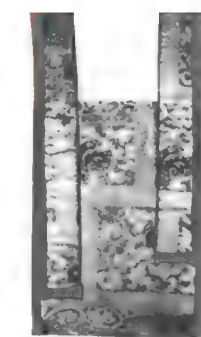
自己紹介コーナー

こんにちは。松井　恵美　19才　東京モードに通ってます。
夢はデザイナーになることで、前から「享楽主義」というブランド名は決めてあるんだけど、まだぜん²活動してなくて、これから徐々に活動していこうと思ってるところです。
ジャージが大好き。冬　毎日のように着物を着ていた時も、その下にはいつもジャージ着てたし。特にアディダスのジャージが好きで、素敵なジャージを求め続けてます。
踊ることも好き。この間ホコ天の時に表参道でゴアをかけてポチコ、ポチオ、たえちゃんと踊っていたんだけど、すごく楽しかった。みんなも一緒に踊りましょー！！
太陽の下で踊るのは気持ちいいよ。
チャリンコも好き。これから地獄族の仲間で走りまわる予定。仲間っていってもポチオ（隊長）、ポチコ、あたしの3人だけなんだけど。ポチオにむりやり仲間にさせられたんだけど、なんだか楽しくなりそうでわくわくです。

和物に凝っていたころ（STREET No.92）

着物にはまった時作ったかばん

作り方

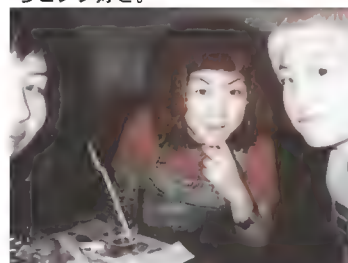
①で袋の部分を作って②でひもの部分を作ります。
袋はふたになる部分を残して折り返した両端を縫う。
ひもは②を点線でカットした2枚の布を1枚の細長い布になるように縫いあわせる。それをさらに2つに折って縫う。
それぞれ出来上がったもののまわりにパイピングテープを縫いつけると素敵。
袋にひもをつけたら出来上がり!!

前面。ふたを開けたところ。

裏面。
ひもは安全ピンで留めてある。

最近よくはいてるパンツ

作り方

前と後のパターンを2枚ずつ裁断する。
まず前と後の布を中表にして①と②を縫いあわせる。①と②を縫いあわせた2枚の布を中表にしてあわせ　それぞれの股を縫いあわせる。
ウエスト部分と裾部分をそれぞれ折り返して縫ってゴムを通す部分を作る。この時ゴムを通すために2cm位残して縫いましょう。2cm位残した部分からゴムを通す。
そしてひっくり返して表にしたら
でっきあがりー!!

4年くらい前。福岡にいる時。
ずっとショートだった。そして前からピンク好き。

この3人でTVの観覧のバイトをしてた。去年の夏はよくこの3人でいた。

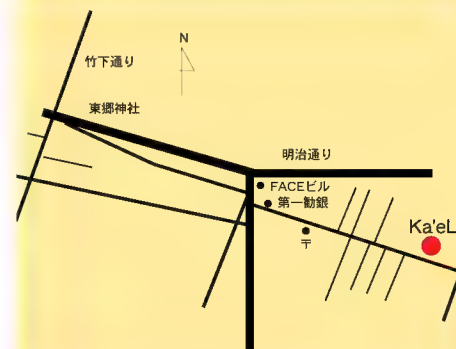
今年の春のレインボー2000※に行く途中の車の中。
※

SMAILE SMILEというイベントの時。
この頃はみんないて楽しかったなー。
活気があった。

Ka'eL の New Collection だヨ

photographer: IKUMA

カ・エル '97'98秋冬コレクション

カ・エルの秋冬コレクションが8月24日に行われた。テーマは「ヨーロッパに占領されたASIA」。カ・エル オリジナルとアジアからのインポート、日本のインディーズとのミックス。スタイリストの青柳氏が率いるブランドだけに、コーディネートで映える服。テーマは一貫してアジア。嫁入道具用布団の金襴生地のデッドストックなど、自称生地フェチの青柳氏が探し回った生地はユニーク。オリジナルを展開してまだ2シーズン目で、オフ原宿に小さなお店が1件あるだけだけど、このレベルの高さは要注目。

渋谷区神宮前 2-25-4　tel. 03-5474-3590

東京ゴアショップガイド

インドのゴア地方でテクノとサイケデリックから生まれたゴアファッション。いまゴア系にハマっているポチオ君とポチコさんに東京のゴアショップをガイドしてもらった。

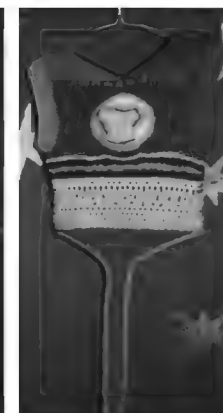
取材協力　ポチオ　ポチコ

GYPSY

ジプシー
渋谷区恵比寿西 2-21-13　2F　03-3462-2454

★オススメCD＆イベント
音を作っているミュージシャンの出入りが多く、サンプルCDを置いていってくれるので、それを店内のBGMにしています。最近はドラムンベースが多いかな。

★コメント
レディース物が多いけど、男の子も着れるので、気軽に遊びに来てください。足袋くつ下（800円）が大好評!!

ニットワンピース　￥36,000

ニットベスト　￥32,000

binary

バイナリィ
渋谷区神宮前 6-16-7　201　03-5469-0186

★オススメCD＆イベント
CD：D.H.R
オススメグループ：カストロ
イベント：MILK（10/10）　MXi（10/12）　渋谷・屋根裏（10/25）

★コメント
ヨーロッパ・アメリカ・日本のテクノシーンのファッションを追及しているお店です。

Tシャツ　￥42,000

ジャンピングシューズ　￥19,900

レーヨンシャツ　￥6500　パンツ　￥6500

ストレートパンツ　￥8,500

NEW FUNK

ニューファンク
渋谷区神宮前 6-16-7　202　03-5485-3033

★オススメCD＆イベント
音楽はアンビエントで和やかに、心地よく。

★コメント
一点物が多く、商品の展開が早いので、こまめにチェックしに来て下さい。気軽に見に来てね。

ZOOK

ズーク
渋谷区神宮前 1-16-8　JUMABERU HARAJUKU 3F
03-5469-0186

★オススメCD＆イベント
オススメイベント：トータル イクリプス（コロンビア）
トータルイクリプスとは皆既日食のこと。1998年2月にコロンビアで起こる日食のときに行う野外レイヴイベント。

★コメント
ご来店お待ちしております。

パンツ　￥9,800

ACCESSORY MARKET

アクセサリー マーケット　14:00～20:00（土：～13:00）
世田谷区北沢 5-33-3　03-5481-9306

★オススメCD＆イベント
MATSURIのCD各種揃えてあります。
イベント：イクイノックス
レイブイベント：OUTSIDEPARTY

★コメント
ファッションがフリーダムになってきたので、みんなのファンタジーな世界に対応できる服を提供していきます。

エスニックシャツ　￥2,900
ゴアパンツ　￥7,900
ハンドメイドバック　￥3,500

REFLEX CAFFE

リフレックス カフェ 下北沢店（ゴアカフェ）
世田谷区北沢 2-14 ハニービル2Ｆ　03-5481-9306

★友達の家感覚で遊びに来て下さい。

mini FRUiTS

FRUiTSへの反響にびっくり。毎日届く皆様からのあたたかい（熱い？）お手紙を読むのが日課になりました。楽しいです。ありがとう。で、前号に引き続きここに紹介。これからも身の回りのこと、思ってること、教えて下さいね。たのみましたよ。

はじめまして、コンニチワ。ストリートもいっつも楽しみにみてます。何回みてもそのたびに新しい発見が得られるのであきることがありません。
FRUiTSの9月号はじめて買いました。（先月号はどこ行っても手に入りませんです）やはり東京の人はおもしろい人いっぱいいていいなーと思いました。（しかし、友人といつも話してるのですが、どうして全身20471120とかヴィヴィアンetc.の方がいるのでしょう。お金持ちだ。）今のところビンボーおしゃれでがんばっています。短大の服飾科です。今度、サークルの人々とファッションショーやる予定です。一回目もやって、大成功しました。これから服作りの日々です。大変だろうけど、すっごい楽しみです。冬にやる予定なのでもしこっちに来ることがあればのぞいてくれればすごく光栄です。
（北海道　和田　典子）
F：ショーの予定がある方々、教えて下さい。仕事の都合さえつけば、見に伺いたいと思います。（でも行けなくても怒らないでね。）

FRUiTSって!! かっこよすぎっ✧
今まで何を探してたのかって、この本ですよ！この本。
なんてゆうか、本当に実在してる人たちを身近に感じることができるっ!!!!
1人1人が自分のポリシーを持っていて、何かと参考になるし。
写真も大きくてウレシすぎ♥
人間ウォッチングが好きな私にとってもウレシすぎっっ♥♥
（福岡県　永田　典子　高1）

「FRUiTS」の皆様
「NO.1,2,3」とすばらしいぐらいワンダーな雑誌でした。[illegible]
[illegible]
これからもキタイしています。
（千葉県　えみ　18才）
F：原宿SHOP MAPの企画を検討中です。

こんにちは。はじめてお手紙書きました。
私は高校に入ってからおしゃれに興味を持ちはじめて、ファッションを研究するようになりました。研究っていっても、雑誌で東京の街の人を見てコーディネートの仕方とか髪型とかブランドの名前とかを真似してみたりするだけでした。でもだんだん自分はパンク系の服が着たいんだっていうのがみえてきました。
そんな時FRUiTSを発見して、ホントに「これだ！」って思いました。私の友達でパンク好きの人が一人いて、そのコと二人で「すごーい♡マジ？なんでこんなステキなの！かわいい（泣）」って大騒ぎでした。
私の通ってる学校は長岡市という所にあるんですが、そこら辺の人達は大ざっぱに言うと、アジア系かコギャル系の服の人しかいなくて、私と友達はFRUiTSの人達まではいかないけど、かなりパンクなカッコなのですごく目立つんです。それがいやな訳じゃないんですが、参考になる町の人がいないんですよ。前から思ってたんですが、新潟って雑誌とかにのっても全体的に薄い感じなんですよ。なーんかイマイチって感じなんです。だから、町歩いてるだけで刺激がありそうで、東京という街にすごくあこがれマス。
東京は行きたいけど、そんなにしょっちゅう行くことはできないので、FRUiTSはすっごく助かります。FRUiTSはシンプルなひとでも小ワザがきてる人とか、「このスカートだけ売ってたら絶対買わないだろうな。」っていう服を私好みに着こなしてる人とか、載ってる人がほとんど参考になるんです！
（新潟県　みな　高3）

わたしは、いま中学校3年で、受験です。中学校は、すごくきゅうくつでたまらなくイヤです。まだトモダチがいるから、ましだけど…。でも、なんていうか、あたしは、すっごいいなかに住んでるのです。だから、オシャレとかするのスキだから、もっといろんなこと知りたいんだけど、そういう環境じゃないのです。かわいーお店とかもないし、フリマとかもないし、大阪とかならいったらあるけど、電車代いっぱいいるし、おこずかい少ないし。それにあたしの思ってることわかってくれる人がいない。東京とかなら、みんな自由に、スキなこと、やりたいことやってる。すごくうらやましい。あたしなんて、しばられてばっかです。髪の毛だって染めるのダメだし、パーマもだめだし。みんな同じような髪型ばっかりでおもしろくない。FRUiTSにのってる人たちは、あたしのできないことみんなしてる。すごいうらやましい。なんかこのごろ、このままフツウの高校行って、フツウの人生おくるのかなって思うと、ヤル気がうわーってぬけてきます。自分がやりたいことしたい。でも、自分がホントにやりたいことも、実はよくわかんない。どうしたらいいか教えてください。
（イノウエ　セイコ）

F：私は幼稚園のとき「大人になったら何になりたい？」と先生から聞かれて大変困ったのを覚えています。そんな根元的なことを聞くなんて。（笑）そして、大人の私は、いまだに、ホントに自分がやりたいことはこれ！自分のスタイルはこれ！と言えません。これだって思ってももしかしたら自分のカン違いかもしれないし、それは時間がたつうち、色々学ぶうちに変わるかもしれないし、なんか一生をかけて解く難題のような気がします。
はたから、「あの人はやりたいことをやってる」ように見えても本人はそう思ってなくてやっぱり同じように葛藤しているかもしれない。だから、今は目の前にある小さなことでも、不満、疑問を持ったら→情報からさがす、調べる→知る→ためしてみる。の繰り返し（努力）が必要なんだと思います。それを楽しいと感じるかだるいと感じるかが、大きな別れ道。で、だんだんこうしたいってことが見えてくるんじゃないかなあ。ただ大人になってみて思う事は、中学校で習ったことはよく覚えていて案外自分の仕事や人生に役立ってるんですね、これが。FRUiTSに載ってる子達もけっこう色々悩んでますよ。

胸クソ悪い話→
この前（大分前ですが）古着テイストなあまりお金持ちではなさそうなカッコウで、と、あるお店（大分有名、若者の間で大人気。FRUiTSにも載ってる）に入ったのですが、その時は私が真剣に服を見てても説明に来ない店員さんがいました。（ヒマだったのでね。）でも二次行った時にヴィヴィアンの服を持ってたら、すぐ飛んで来て説明をはじめました。胸クソ悪かったです、本当。
ヴィジュアルで判断されてます。
仕様がないけれど。うーん。現金だなあ。
超PANKSな彼氏が欲しいよう。
一緒に手錠して歩く（笑）。
（埼玉県　川合　みずき）
F：いやですね、そういうの。でもうるさく説明されるのもイヤだけど。そういうときは、あばれちゃえ。（笑）

FRUiTS見終わって心地よいショック感じてます。20年前に黒をよく着てたら、不幸があったと間違えられたり、右も左も黒一色のファッションになると日本にはきれいな色が沢山あるのにと思ったり…今、年中年令に関係なく黒が着られて、そして「エンジェル」が出てきて…ミンナどんどんチャレンジしてネ。イケテルおばさんの、でなければ親子のFruitsをしてほしいデス。
（静岡県　タダのオバサン　49才）
F：大人の方からの応援。うれしいです。FRUiTSは年令に関係なく、カッコいい人が好きです。どんどん載せます。

私は、まだファッション（服の魅力）に目覚めて、1年も経っていません。でも自分なりに色々な情報を探して努力しているつもりです。ですが、どうしても出来ないことが1つあります。
『1人で個性派ブランドのshopに入って買い物をする』
というのも、普通の服屋さんと違って、個性派ブランドのshopのSTAFFの方々は、かっこよすぎて、雰囲気も、何か独特で、店内の空気の色も外界とは異なっているように思えるのです。だから、1人で行くと孤独で、自分は場違いな気がしてしまうの。どうしたら、このような苦手意識を克服できるでしょうか？何か、よいアドバイスを下さい。
（奈良県　GREEN DAY）
F：そうですよね。あります。そういうお店。なんとかしてほしいです。で、どうするか。行かない。負けないように「私はお客で商品買いに来たのよ！」って態度を取るのも違うと思うので。お買い物は楽しいことだから、気持ちの良い店員さんのいる気持ちの良いお店に行くに限ります。

エンジェルの服はうちの母が大好きです。影響を受けたのかどうかわからないけど、FRUiTSの写真をみてから着物をひっぱり出してなんやかんやしてる。
（堺市　木村）
F：それはうれしいことです。反対するお母さんが多いらしいのに。お母さん、やるなあ。

10月号を購入して♡ラブリ→なあきSANが自己PRにのってたのでめちゃウレシカッタです。
1号の表紙にあきちゃんらしき人がのってたので、「オオッ！！」と思いツレにいってうって→」とか「別人でしょ→」とかいわれてFRUiTSにきこうと思ってたんですごくクて。ウレシクて。私、手帳の表紙あきちゃんだし、はまってるんです。けっこう前か手紙書いたりとかはムリなんですか？教えて下さい。
LOVE♡LOVE♡AKICHAN（レズじゃないっス）
（愛知県　RIYO　高3）
F：1号の表紙はあきちゃんです。あきちゃんはしろうと有名人なんですね。
手紙は編集部あてに送ってください。あきちゃんに渡します。返事はできないかも…

9月号204071120のインタビューの中で、「チャレンジしてるんだぞっていう気合いがないと着れない服」とありましたが、そんなチャレンジ的な着こなしをしている人達に、人に見られていると、どんな気分かとか、はずかしいと思うかとか、そんなことを聞きたいです。また、それをやって「ヘンだよ」とか「かわいい」とか反応のエピソードなんかを聞いてほしいです。
（現役高校生カウンセラー　高2）

相談ゴト→ 今、本当困ってる。自分のスタイルが見つかんない。街でオシャレな人を見かけたり、雑誌とか見てて、なんか自分が本当に好きなモノが見つけられててイイナーって思う。服とか、音楽とかって流行（はやり）に合わせてくのもイヤになってきた。今自分が何をしてんのか分かんなくなってきた。でも、服を作ったり、絵を描いたりするのは好き。今、自分が本当に求めたいって思うモノが分かんない。こういうトキって誰にでもアルコトなんだろうかなぁ…？どうすれば自分のスタイルが見つけられますか？本当マジで悩んでマス。
（長野県　イケガミ　イクミ　15才）

FRUiTS様へ。
さいしょに。ハガキでなくてスミマセン。ハガキじゃ字あふれそうだったので。今、高3で、すごく悩んでいます。すごく生活ギリギリなので上の学校には行けないので、就職希望しているのですが、私の住んでいる所は北海道もはじっこの根室や釧路という日本最東に程近いイナカでやりたい職業がナイんです。やりたいのはマネキンなど、服にたずさわるものなのですが…。それでわりと近めの釧路から求人「衣服の販売」があってようこんだはいいけど超高倍率…。これからだとこの町にいてやりたい職業なんて見つかりません。いっそのこと東京（又は大きな所）に出てやりたい事さがしたいのですがすごく不安です。環境、全く異なるし…。でも私としてはもっとたくさんの人やモノを見たい。いろんなことを知って世界広げたい。たくさんしげきうけたい。そしてやりたいことやりたい。どなたかアドバイス下さい。おねがいします。このままじゃアセる一方ですよ。でも生活のコトとか考えるとホント不安です。
（北海道　オオサワ　ミオ　17才）
F：ウーン、そうなんですか。困りましたね。まず、その地方の就職の需要と供給のバランスについて詳しくないので…だれかいい案、いい情報、経験があったら教えて下さい。

FRUiTSいーです。とってもかいはじめて2冊めです。わたしはあおもり人だったけど高校（音楽…）から東京で通ってます。寮に入ってるんだけど、けっこう自由です。私服のガッコーなんだけど、コギャルちゃんだらけです。でもみんないーコ。でも、やっぱりいっしょに買い物したりあそんだりするオシャレのしゅみがあうともだちがほしいです。いっつも1人でブラブラ原宿とかあるいてます。だれかわたしとお友になって下さい。今、しゅみでデザイン画かいてます。まだ5枚だけどまだまだかきます。音楽（ピアノ）やってるけどデザイナーにすごくあこがれます。それと、最近どこかはずしたコーディネートがすきです。例えば こんなかんじ▷。グラマラスとかnerdsはまだ行ったことないけどすてきなよーふくをみつけにぜったい行きます。前いこうとして迷っていけなかったからこんどは地図をもって。アマープルのほー石みたいにカラフルできれいなボタンがついたブラウスかったんだけどなんかウキウキです。いろいろかいたけど、とにかく服が大好きってことです。お友だちまってます。おねがいします。

（東京都　オオハラ　ミエ　16才）

私の好きなブランド、これから着たいブランド

1位　ミラクルウーマン
2位　ガブリエルチェルシー
3位　ヴィヴィアン ウエストウッド（高いからムリかも）
4位　20471120（きばつすぎるからムリかも）
5位　BERRY BUTTON（ボタン）（靴部門1位）
6位　バーコード
（東京都　会社員　18才）

F：なるほど

洋服で自分を表現することは、簡単なようですが、自分らしさを出すには、たくさんの物の中から選ぶセンスが大切だと思います。私も自分の好きなものを探して、自分らしさを洋服で表現したいです。これからもすばらしい雑誌を作って下さい。オシャレも一つの芸術だと思うので…。
（青森県　風）

（佐賀県　デジマニアックス　♀）

友達募集のコーナー、これまた要望多いですね。編集部としてはどうしようかずいぶん悩んだのですが、試しにやってみることにしました。
友達募集の人の**住所は掲載しません。**
申込の方法を説明します。

友達募集の人は、編集部あての封筒に「友達募集コーナー」係と明記してください。
自己紹介、コメントは200文字まで。イラストO.K.
返信用の封筒に、自分の住所、氏名を書いて、80円切手をはって同封してください。
↓
本に載る
↓
友達になりたい人は、編集部あてのハガキに「友達コーナー」係と明記して○○さんと文通したいとか希望を書いて送ってください。
↓
1ヶ月後編集部でまとめて、返信用の封筒に入れて、友達募集した人にお届けします。

要するに対話が始まるのは、少なくても1ヶ月後からということですね。
少しめんどうな手続きになるけれど、安全で楽しい**交流**をしてほしいという編集部からの願いの表われですから。でも希望者が少なかったり、いなかったりしても悲しまないように。

クリストファー ネメスは一体どこで手に入れることができるのでしょか。名古屋にはないのでしょか。ネメスのオーバーオール欲しいんです。どうしてもなんです。気になって夜も眠れんっちょうわけです、ハイ。周りに知っとるような人はおらんし、知っとりそうな人に聞くのも、えっ、知らないの？って目で見られそうで気がひけるし。Fruitsのみなさんが頼りなんです。
（愛知県　きむら　えつこ19才）

F：お店は3店舗あります。telは
東京−03-3401-2123
大阪−06-532-3878
福岡−092-732-8877
お店の電話で、店員さんが少ないので、土、日や夕方は避けてあげてくださいね。
オーバーオールは28.800円から、通販は基本的にしてないそうです。

20471120　スタッフウインドブレーカー＆インビテーション漫画プレゼント
当選者発表

静岡県　志村　直子　様
大阪府　中川　雅美子　様
北海道　和田　典子　様
新潟県　内藤　桂　様
三重県　国島　里恵　様

ものすごくたくさんの方から、ご応募いただきました。
イラスト、FRUiTSの感想も一緒に書いてくれてありがとうございました。

3号でインタビューした卓矢エンジェルですが、お店の連絡先を掲載していませんでした。
エンジェル：大阪市中央区東心斎橋1-11-14-4F
TEL・（06）244・7899
くりきんとん：名古屋市中区大須2-22-24東亜ビル2C
TEL・（052）212・0130

F　8月7日深夜番組のSRSで大槻けんじの格闘ビデオ道パート5、タイマー録画に失敗、だれか録画してる人がいたら連絡下さい。

サンクスの神田川オリジナルうなぎ弁当はなかなか美味しかった。焼肉弁当はちょっと肉にムリがあるな。期間限定で終わっちゃったのが残念。忙しくて食事に行けないときにずいぶん助かったのに。

これが発行されたときには、もう終わってるんだけど、TBSの"そこが知りたい"で若者のストリートファッションみたいなテーマの番組が放映されているはず。そこでFRUiTSが紹介されて、FRUiTSに載ったことがある人が多数出てたはず。うまく編集してくれていると良いんだけど。そこでたぶん僕の面が割れちゃってるんだよね。僕を見かけても、写真撮ってって言わないでね。（青木）

8月23日のブロードキャスターの山瀬まみのコーナーで"今若者に和物ブーム"みたいな番組が放映された。そのなかで編集の小島のインタビューがあったんだけど、30分程のインタビューが10秒程になっていたので、趣旨がちゃんと伝らなかったかもしれない。番組のエンディングで否定的なコメントで終わっているので、ここで小島の見解を簡単に記しておきます。「着物は完成されているものだが、それにハサミを入れてリメイクしたり、和物を洋服と合わせたりするのは、かなり難しいはずで、高いコーディネートのセンスが必要。それが出来ているのはすごいことで、すばらしいことだ。それが出来る世代が生まれてきたということで、西洋に変なこだわりのある大人の世代にはできなかったことだ。新しい文化を作っていってほしい。」

その号と前号に載ったメーカー、美容室、店名の電話番号を掲載する予定でした。でも調べるのはなかなか難しいので、掲載を希望される方の自己申告制とさせていただきます。FAXにて正式なメーカー名、ご連絡先、ご担当者名をご連絡下いただければ掲載させていただきます。確認のご連絡をいたしますので、お電話番号とご担当の方のお名前を必ずご記入下さい。

ファッション関係のメーカー・お店等のスタッフ・アルバイト募集の情報を無料で掲載いたします。ファッション・美容・クリエイティブ関係に限定させていただきます。募集は月末締切で、翌月発行の号に掲載いたします。掲載時点で募集が終わっている可能性が高い場合にはご応募はお控え下さい。ご連絡はFAXで、会社名、職種、住所、電話番号、FAX番号、ご担当者名、募集条件をご記入下さい。掲載出来ない場合もございますのでご了承下さい。

読者ページを作りましたので、送っていただいたお手紙は掲載されるかもしれません。名前を載せられると困る人は匿名希望かペンネームを書いて下さい。できれば葉書にまとめて下さい。

こんなインタビューをして欲しいというご意見ご要望募集。

大阪に続き、福岡、仙台、名古屋、神戸あたりを狙っています。他の都市を含めて情報を募集します。こんなことが流行ってるとか、取材するならこの場所だとか、美味しいお店とか。情報下さい。

学生のホコ天ファッションショー

先日原宿のホコ天で、都内のファッション専門学生12人が合同でファッションショーをやった。みんながんばるね。
（デザイナー）天野潤　安藤慶次　高橋直樹　斉藤政幸　賀屋真裕美　広岡　松村昌幸　山梨幸介　高橋美香　中島智江　堀部悠　脇田

第2回目の、あきあきコーナーです。前回で私のへなちょこの字がばれてしまいましたね。今回はきれいな字を書こうと努力します。

女の子らしさって何でしょう。かみの長さもな、
あんまりはかないし。そこで、料理をする人になる。
と決心。私の手作り料理 みなさんも挑戦してみて下さい。

(お題) さわやかジュース 3分くらーいクッキングゥー
1, レモン半分をしぼる。→ 2, グラニュー糖を同量、グラスに入れる。
→ 3, 氷をいっぱーい入れて → 4, 水を注ぐ → すっぱくておいしい。
ナツハ・フルーツ・ナツハ、

(お題) ぶどうっ子 フルーツ・ズットフルーツ・フルーツヨロシク。フルーツバンザーイ
1, きょほうをあらかじめ皮をむいて → 2, 冷とう庫でかためまして、
3, うっそおー、できあがりー❀ 2作品とも力作ですが、料理とは言えませんね。初級者ですからゆるして。
男の人で料理できる人は、もてます。私みたいな下手者に。

最近は、ピアス作りに熱中です。
クラスの、みっちゃんに教えてもらって。これは、
作り方は、めっちゃ簡単。慣れたら10分や5分で仕上がるよ。
☺ハンズで1本100円～200円のアクリルを買ってきて、適度な長さに ライターで、あぶりやわらかくなったところで、そこをハサミで切る。 コレ→
あとは先を紙やすり、つめやすりでけずってとがらせて、でっきあがりー。
けずるのは、けっこう根気がいるので大変かも。私は通学の時の電車の中で、ひたすらやってます。これも
アリですよ。
☺100円ショップで売ってる、輪っかのアクセサリーも同じように、輪の真ん中を切って、ハートのビーズ（これも100円ショップで購入）をはめこむ。
これでオリジナルのボディピアス完成。 コレ→
☆かわいいので試してみるべし。☆

声をかけてくださる人、ありがとう。
お手紙もたくさんもらいました。とくに女の子からが多くって
うれしいです。
でも自分の知らない人に「あきちゃんですよね」とか言われると
おどろきます。あとは「かみの毛伸びたね」「彼氏と別れちゃったんだってぇ～!?」とか、何で知ってるの？と思いますね。
これからもいろんなコトにチャレンジしてがんばります。
文章が下手で読みにくいけどごめんなさい。
今後ともフルーツ・青木サンとつるんでいきます。

Thunder Ball"⚡"情報
❀ 8月はGEARで2回・SHELTER・Flightと4回ライブをやりました。夏休みはライブ天国に終わりました。
ジャンルは、パンク・ガレージ・ハードコア・グランジです。
メンバーはギターえいじ(21) ベースあや(18) ドラムちばちゃん(19)
と平均年令が低く、パワフルでおもしろい3人。
目標とするバンドは新宿JAMを中心に活動している
ハウリングギターと、ファイヤーエンジンです。ライブなんかめちゃ²かっこよくてあこがれの先輩バンドです。
今のところライブ予定は10月20日新宿JAMで7:00から
やります。興味のある人は、ぜひサンダーボールを見にいらっしゃいませ。

最近お気に入りのもの

インタビュー シンイチロウ アラカワ

FR　4月の東京でのコレクションで、デビューしてから何年目になるんですか？
荒川　4年目です。
FR　8シーズン目ですか。一番初めのコレクションは、パリでやったんですよね。
荒川　そうです。
FR　パリに乗り込んでから最初のコレクションまで、どれくらいの期間があったんですか？
荒川　3年間パリで学生をやって、その間にちょこちょこと作ってたもので、卒業してすぐに友だち4人で合同コレクションをやったんですよ。それが始めてのコレクションで、2回目にエスパス・コミンでやったショーをContemporaryFashionに掲載してもらったんですよ。
FR　あれが2回目なんですか。その前はパリで3年間も学生をしてたんですか。
荒川　高校を卒業して、田舎から東京に出てきたんですが、その時にクリストファー・ネメスのお店（ゼクトア）に遊びに行ったんです。原宿の同潤会アパートの裏の車庫のところにあるときで。その時ショックを受けたんですよ。その後に、洋服やろうと思ったきっかけは、その辺にあったと思うんです。ずっとネメスさんと一緒にやれたらいいなと思ってて、パリで学生をしているときに、ブックを持ってネメスさんのところに行ったんです。ネメスさんはロンドンに住んでいるとばっかり思っていて。その時、たまたま、ネメスさんがロンドンのショールームを作りにやってきていて。
FR　ネメスのお店のですか？ロンドンにはないですよね。
荒川　お店じゃなくて、カムデンタウンにショールームみたいなのを作ろうって来てたんですよ。東京の友達にゼクトアに問い合わせてもらって、連絡先を聞いたら、そこに居るというので、そこにブックを持っていって。でもあの人はアシスタントとかをとらないから。たまたまそのとき工事中で、今のゼクトアのお店みたいな感じに。
FR　内装？
荒川　人手が足りないから手伝えって。
FR　なるほど。
荒川　それからは、ネメスがロンドンと東京を行ったり来たりしてたので、ロンドンに来た時は、パリから出掛けて行って、パターンのときとかに手伝いをしたりとか、東京で新しいコレクションを作る時に、パリから東京まで行って手伝わせてもらったり。あっち行ったりこっち行ったりして、ほとんど学校には行っていない状態でした。
FR　へえ、ネメスとは学生の時にそんな感じでやっていたんだ。東京でだと思ってたんですけど、ロンドンでなんですね。
荒川　ネメスさんの滞在期間が2カ月とか1カ月半とかあったんですよ。その間は、パリの学校を休んで、ロンドンに行かせてもらって。しばらくロンドンに来ない時期には、一緒にやりたかったので、東京でずっと手伝わせてもらって。
FR　パリの学校には籍はあったんですよね。
荒川　ありました。卒業したら、東京に帰ってきて、ネメスさんのところに働くような話もあったんです。でも卒業前にパリに帰って、服を作って発表しちゃったんです。それからパリのお店に置いてもらえるようになって。そこからゴロゴロ転がりながら現在に至るみたいな。
FR　エスパス・コミンの裏で、アトリエみたいなのをやっていたのは、いつ頃なんですか。
荒川　学生を卒業するころに4人でやった合同コレクションが、19区とか20区とか、あっちのほうだったんで、人もあまり来なかったんですよ。自分がひとりでコレクションをやるということになって、場所探しで町をぶらぶらしてたんですよ。たまたまエスパス・コミンの前を通りかかって、「なんだ、こんな所にでっかいスペースがあるじゃないか」って入って行って、「すいません。ファッション・ショーをやりたいんですが」って。
FR　フランス語で？すごいなあ。
荒川　アントニーというアメリカ人の黒人がそこのオーナーだったんですけど、入っていったら、「金を持っているのか？」って言われて。「持ってないですけど」って言ったら、「じゃ、だめだ。だめだめ」ってお払い箱になって。帰ろうとしたら、「ちょっと待て」って言われたんですよ。「今度、ここで、デザイナーのストックのセールを企画しているんだけど、それを手伝ってくれないか」って言われて、「ま、いいか」って。それで、そこを手伝うこと

になって、パリでプレスをしているゾエと自分とで、いろんな知り合いのデザイナーとかに連絡したりして。

FR　ゾエさんとはもう、知り合いだったんですか?

荒川　知り合ったのは、卒業してすぐだったんです。二人でいろいろ他のデザイナーのところに電話して、「企画があるんだけど、ストックを持ってたら出さない?」って話して。で、そうこうしているうちに、アントニーとも仲良くなってきて。あるとき、「お前、話に聞いたら、アパートで家庭用ミシンで服を縫っているそうじゃないか。」って言われて。「そうなんですけどね。」って話してたら、「工業用ミシン、買えば。」って言われて。「下から苦情があるから、工業用ミシンでは縫えない。アパートでは縫えないから。」って。そしたら「じゃ、工業用ミシンをここの裏に持ってきて、縫っていていいよ。」って言ってくれたんです。それで初めて工業用ミシンというのを買って、エスパス・コミンの裏でずっと夏の間ガーッと縫ってたんです。その間エスパス・コミンは工事中で。いろんな業者さんとかやって来て、ガンガンやったり、ペンキを塗ったりしてる時に、裏でガーッと縫ってたんですよ。それが第1回目のパリ・コレの服になるんですけど。エスパス・コミンはパリコレでよく利用されていたので、アントニーに、サンディカとかいろんな関係者から「その場所で誰がショーをやるか教えてくれ」って電話がかかってくるんですよ。「最初はジャン・コロナで、ヘルムト・ラングがあって、その次に、コスチュームナショナル。最後は日本人のシンイチロウ・アラカワがやる。」って勝手に言っちゃったんですよ。「いや、そんな話、聞いていないよ、おれ」って。(笑)

FR　勝手にそんな話しになったんだ。

荒川　「アントニー、何、今の話?」って言ったら、「お前、ここでショーをやるんだよ。」って。お金もないし借りられないっていう話をしたら、「分かったから、そういうのはいい」って言ってくれて。結局、そこを無料（ただ）で貸してくれて、そこで作った服を出したのが、1回目のコレクションなんです。2回目もそこを使わせてもらったんですけどね。今は回りの苦情でショーはできなくなっちゃったんです。ジャン・コロナって、今は大きいスペースやってるじゃないですか。あの当時、エスパス・コミンだと小さかったので、中庭にテント張って、ロックをガンガン流して、結構音をうるさくしていたら、回りの人からの苦情で、ショーのための使用は禁止という条例が出ちゃったんです。

FR　条例が出ちゃったんですか。

荒川　市が許可を下ろさないというので。でも最近、また、やってますよね。

FR　でも、減ってる。使ってないかな。

荒川　あそこでショーができなくなったんで、他の場所を探さなきゃって。レピュビリックの今回マルタンがやった場所とか色々なところでやったりしましたね。

FR　パリでコレクションできたのには、色々偶然なことがあったんですね。

荒川　あの時は、本当に色々。お店にしても、1回目のコレクションをやった時に、アブサントとマリア・ルイザの所に行ったんですよ。それまで聞いたこともないし、行ったこともないし、どんな店かも知らないし。友だちが、「せっかく、お前、服作ってるんだから、見せに行ったら?」って言うから。パリでは、マリア・ルイザという店とアブサントという店があるからそこに行けって。置いてもらえることはまず無いと思うけど、意見を聞くだけでも勉強になるから持って行けって言われて。段ボールに服を入れて、アポイント取って。最初にマリア・ルイザに行ったんです。マリア・ルイザの場所って、カンボン通りじゃないですか。僕が住んでるベルビルから、服が沢山あるからタクシーに乗って、ダーッと行ったら、普段行かないようなとこにタクシーがどんどん入って行って、シャネルのお店とかが出てきて。場違いじゃないかなって、こんな所のお店に置いてくれなんて。服とか、見せられるのかなって。でも約束しているから見せなきゃしょうがないじゃないですか。段ボール箱を持っていくと、「見せろ」って言われて。お客さんがいっぱいだったので、端っこのほうで段ボール置いて15分ぐらいボーッと待ってて。「時間ないから、さっさと見せて」みたいな感じで、広げさせられて。でも反応が、「おっ」という感じだったんですよ。向こうも真剣になって服をピックアップして、裏のオーナーのとこに持っていって帰ってきてって。「オーケー」って言うんですよ。「これとこれとこれを、次のシーズンの初日に持ってきてくれ。」って言われたんですよ。「OKだったねー」とか言って出てきて、「やったやった」とか言って。自分は1件あればいいだろうという感じだったんですけど、アブサントというお店が新人にかなり良いから、持って行って見せなさいって友だちに言われて。持っていったんですよ。そうしたら、マリア・ルイザよりももっとOKで。

FR　もっとOK。(笑)

荒川　次のファッション・ウィークの時に、ショーウィンドウに飾ってあげるという話になって。で、「なんか、良かったねー」って感じで。アブサントとは、結局、2シーズンぐらいだったですかね。アブサントが1件あればいいやって思っちゃって、マリア・ルイザには、次のシーズンから、電話もしなければ行きもしなかったんです。いま考えてみたら、なんてバカなことをしたんだろうって思うけど。

FR　マリア・ルイザはちょっと高級系ですものね。行く時、緊張しました?

荒川　うーん、緊張はしてたかもしれない。審査をされるというのがいやなんですよ。

FR　そうですね。僕もいやです、なんか意見を言われるのは。褒めてもらうのはうれしいけどね。

荒川　自分が尊敬している人とか好きな人に何か言われたら考えるかもしれない。多分考えないとは思うけど。全然違う人に何か言われても、「なんかね。」って思うし。東京にいた時も、みんなコンクールとかに参加するじゃないですか。ああいうのが、すごく嫌いで。要するに、審査員のために服を作るというのがいやで。応募する時に審査員の名前がでてるじゃないですか。「誰々のために」という感じで洋服を考えなくてはいけなくて、自分自身でなくなっちゃう。自分の好きなデザイナーが審査員だったら審査してほしいとかってあるけれど、そうじゃない人が審査員にいて、ああじゃないこうじゃないとか、ここを直せとか、あれをしろとか言われるのはいやだし。大体、作る人の個性があるじゃないですか。審査員とは違うものを持っているわけだし。だから、そういうのを審査するというのは、なんか違うんじゃないかなって。

FR　ヨーロッパって、そういうのは無いんですか。

荒川　スタジオベルソーという学校に行ってたんですけど、そこは点数が全く無いんです。他の学校、エスモードとかって、やはり点数制じゃないですか。学期が終わると評価があって、点数がつけられていくんですけど、スタジオベルソーでは全く無いんです。すごく自由な学校で、色々な方面に卒業生がいたりして。卒業生はフランス人が多いですよ。イザベル・マロンとかコリンヌ・コブソンとかマルティン・シトボンとか。その辺の人たちが、結構いたりして。で、点数が全くつかなくてみんな同じ。毎週、課題があって…。

FR　毎週、あるんですか?

荒川　毎週金曜日に発表会を、みんなで集まってやるんです。入学のときに学生が100人くらいいたとしたら、半年でその半分になっちゃうんですけどね。先生が評価をしていくんですけど、評価の仕方が点数制じゃなくて、誰が一番とか誰が良いというのは無くて、「ここの点がすごく良いね、でも、この辺を少し直したら良いんじゃない」という感じで。みんなの前でやるんですよ。普通だと、例えばデザイン画を描くと終わりとかなんですけど、そこの課題はテーマがひとつ与えられて、何をやってもいいんです。例えば、人形を並べてファッションショーをやっちゃう生徒もいたし、デザイン画を飛びだす絵本みたいにした人もいたし、

クレヨンのなぐり描きみたいなのや、色々なバージョンがあって。でも点数が無くて、誰が一番、誰がペケというのが無いので、みんな自分が一番という気持ちになっていくんですよね。でもパリのファッション業界のシステムというのは、すごくそれに近いというか、ズバリのものがあって。個性がすごくそこでは生きるんですよ。その学校の中では、一番もペケもないから、みんなスノッブな状態になるんですよ。要するに、全員が一番という世界になってくる。学校を卒業して、パリのファッション業界に入った時に、どこでも通用するくらいのスノッブさみたいなものを身につけて卒業していく。

FR　なるほどね。本物かどうかは分からないけど、自分に自信を持っている状態になってる。

荒川　それが、ある意味で、パリっぽいところかな。

FR　課題って、どんな課題ですか。

荒川　例えば、来週はマドンナの洋服を作ってきてくださいって。

FR　ああ、なるほどね。

荒川　自分のイメージするマドンナの服を作ってくる人もいるし、絵にしてくる人もいるし、人形みたいなのを作る人もいるし、色々です。

FR　学校では、その発表の時以外はどんなことをするんですか。

荒川　クロッキーを描いたりとか。クロッキーもモデルさんが来るんじゃなくて、学生をモデルにして、スタイリングも学生がして。それを、クロッキーするとか。年の最後にベルソンファッションショーというコレクションがあるんですけど、その時のテーマも学生が決めるんです。今回は豚とか、自分らの時は、テーマがヌード。学校のショーとして生かすために、先生がある程度調整して、先生がデザイナーで、学生がアシスタントのような状況になっているんです。

FR　服の作り方とか構造とか縫い方とか、そういうのは？

荒川　そういうのは、あまり無いですね。

FR　そうなんですか。

荒川　ほとんどデザイン専門っていう感じで。

FR　テーラードの作り方とか。

荒川　無いですね。

FR　自分で勉強するしかないんですか？

荒川　週に一度、パターンの授業はあるんですけど、それだけじゃほとんど何もできないです。だから最後のコレクションではストレッチの生地とかが多かったりして。その代わり凝っている服を作ったりして。フランスのシステムって、デザイナーはデザイン、パタンナーはパターンというチームでやるじゃないですか。イギリスとか日本のデザインの勉強の仕方というのは、デザイナーはパターンもしっかりできてという、いわゆる、テーラードの服のシステム。パリではデザインのスペシャリティとパターンのスペシャリティが一緒にチームを組んで、良いものを作っていくというシステム。デザイナーは服のアイデアだけを追求していくんです。

FR　フランスのデザイナーはそんな感じで、服は自分では縫えなかったりするんですか？

荒川　自分の知っているデザイナーで、服の構造を知ってるというのは、オートクチュールの学校とかを出てきたデザイナーじゃないですかね。友だちのジュリー・スカーランドとか、ベルソーなんですけど。マーク・ルビアンにしても、パターンの所から出てきた人じゃないですし。フラッド・サタルも南仏の劇団に作っていた人だし。だから、ジョン・ガリアーノが５０年代のクチュールのファッションで、パリでやりましたよね。あれが、本当にずばりフランスのシステムの象徴みたいなもので。ジョン・ガリアーノというデザイナーがいて、その下にクチュールのクチュリエがいて。

FR　じゃデザイナーは、本当にスタイル画とアイデアを出すだけ？

荒川　あとは、ブランドのディレクションみたいなのをやっていく。

FR　でも若いころは全部自分で縫ったりしなきゃなんないじゃないですか？

荒川　そうですね。

FR　荒川さんも、そうですよね。逆に困りますよね。

荒川　あの当時、僕が出た当時って、同年代でジュリー・スカランドとかマーク・ルビアンとかフラッド・サタルとか出てきたじゃないですか。あの当時って、すごく僕らが出やすい時代だったと思うんですよ。マルタン・マルジェラという人が出てきて、服はかちっとしていたんだけど、一見手作り風というか、味やテイストが前に出ていて。その後、若手のデザイナーが出やすくなってきた。

FR　マルタンが、切り開いたということが言えますか。

荒川　そのあとで、ジュリー・ベッツとか、ジュリー・スカランドとかというのが出てきて。その後にジョン・ガリアーノのクチュールというのがボンと出てきて、その一歩前にいた僕らの世代の人たちが、すごくやりづらくなった時代ですね。

FR　今の状況ですか？

荒川　今のちょっと前ですね。パターンを知っている人がちゃんといて、そしてデザインを起こす人がいる。そういう状態に若手のデザイナーが行くまでに、ジョン・ガリアーノがやってしまった。ジュリー・スーカランドにしても、もし、もう少し大きくなって、ジュリー・スカーランドというデザイナーがいて、パタンナーがいてという、そこまでいったら違った形になったと思うんですけど。まだ始めたばっかりだから、自分で何でもやる。パターンから縫製からサンプル化というところまで自分でやるじゃないですか。そこに、クチュール、ジョン・ガリアーノというのがドンと来たから、すごく厳しい時代だったですね、あれ以来。フランスの人に言わせれば、要するに、元々あったフランスのクチュールの文化というのを取り戻す。粗雑なものと言ったら変かもしれないけど、若手がドーッと出てきて面白くはなったけど、どこか削っていかなきゃいけない部分というのがあったみたいで。そういう流れだったというか。

FR　なるほどね。もともと、そういう流れだったものを、最初に切り崩したマルタンはすごいパワーですよね？

荒川　そうですね。あの当時まだ学生だったんですけど、僕がネメスが好きだって友だちが知っていたから、友だちから電話がかかってきて、ネメスの服が樫山に置いてあるとか言って。そんなはずないだろうって見に行ったら、ネメスじゃなかったんですよ。裏地が出てて、ぼろぼろで、袖がどーんと長くて。

FR　マルタンだった。

荒川　それが、マルタン。

FR　そうなんだ。マンタンがネメスに影響を受けたっていうのもあるかもしれないね。

荒川　ネメスとロンドンでやっている時、ジュディ・ブレイムに、「パリに住んでるんだろ、パリで誰がおもしろい？」って聞かれて、「マルタン・マルジェラという人が、今おもしろいですね。」っていう話をしたんですよ。そうしたら、隣にクリストファーがいたんですけど、「マルタンも確実にお前の影響を受けているよ。」って、ジュディがネメスに言ってたんですよ。

FR　ジュディが、ネメスに？　そのすごいネメスが日本にいるんだもんね。

荒川　マルタンの服は完璧にクチュールですよね。最初のジャケットとか見ても、服を知らないと、あれはできないですよ。

FR　すごくちゃんと作ってあるんですよね。最初のコレクションとかって、スーパーの袋を使ったりとかしてたけど、その時の袴みたいなパンツとか、今から見るとすごくきれいなんですよね。あの時、あんなの着れるのかなって思ってたけど、当時からちゃんと作ってますよね。見せ方がすごくアバンギャルドだった。ネメスに以前にインタビューした時に言ってました。「みんな、おれのまねばっかりだ。ジュリー・ベッツもそうだし、マルタンもそうだ」って。マルタンとはどこかで会ったらしくて、「でもマルタンはいいやつだった」って。

荒川　イタリアで会ったって言ってました。

FR　「ジャン・コロナのアイデアなんか、おれのアイデアじゃないか」って。その通りなんだけどね。

FR　ネメスとは、結局、どれくらいの間ですか？

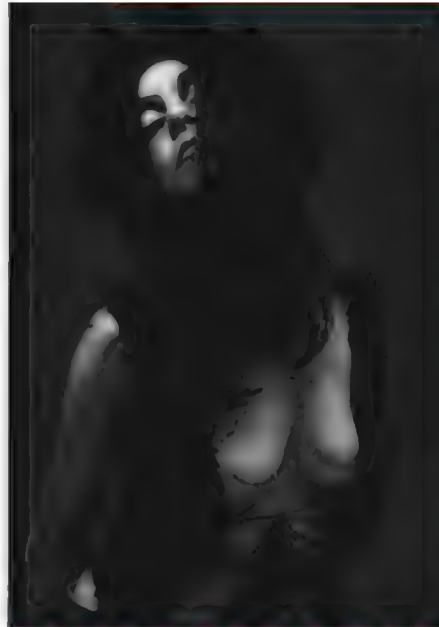
荒川　すごく短かったですよ。コンタクトがあったのは、学生の2年生後半から3年生いっぱいとか、そういう感じだったんですけど。結局、行ったり来たりじゃないですか。だから、全部合わせたら半年とか、そんな感じじゃないかな。

FR　延べにすると、1、2年？

荒川　コンタクトがあるのは。でも今もそういうコンタクトはありますから。

FR　そうですよね。パターンや制作のところとかも手伝ってたんですか？

荒川　最後のほうは、そういうパターンとかも引かしてもらったりとかしたんですけど、最初は色々やりましたよ。

FR　壁紙貼りとか。
荒川　壁貼りから、ロンドンのパーティでは飯も作ったし。朝飯を前の日にスーパーで買って、朝作ったり。ロンドンでは、そんな感じ。
FR　かなりネメスの影響を受けちゃいますよね。
荒川　あの人のパターンのやり方とか見てても、やっぱり普通のパターンのやり方じゃないじゃないですか。すごく短い期間だったけど、そういうのが勉強になったし、服というのは人間が着るもので、ボディが着るものじゃないという、なんか、そういう感じがしたんですよね。わからないけど、マルタンとメネスの違いは、マルタンはボディがあっての服だし、メネスはムニュムニュとした人間の体が基本になってる。
FR　やわらかい体が基本ですか。
荒川　マルタンの服はダーツ処理とかって多いじゃないですか。それは、袖がこういうふうに曲がるって、ボディの上で考えているダーツ処理の仕方っていう感じがあって。でも、ネメスの場合は、人間が着たときにすでに手が曲がっていて、ピンとなってないですよね。着たときに曲がっているから、袖もそうやって曲がってなくちゃいけない。それをダーツで曲げるんじゃなくて、もう既に曲がった形をしていて、これが普通なんだよという。
FR　なるほどね。で膝もそうだっていうことなんですよね。膝の位置も決まってますもんね。
荒川　そうですね。
FR　それはとても根本的なことだから、そのコンセプトを取り入れたら、ネメスの服になっていっちゃいますよね。
荒川　ネメスの場合は、人間が着るということが基本になっていて。それは、すごく勉強させてもらったんですよ。ボディで針も使わないし。人間が着るということだけじゃなくて、ネメスさんと話をしていると、「じゃ、人間というのはなんじゃい」みたいなところまで話してくれるから。ネメスさんはダイレクトには言わないけども、あの人を見て生活してると「人間、クリストファー・ネメス」というのが出てきて

いるし。そういう部分では、マルタンの恰好良さとネメスの恰好良さというのは、全然違うなって。自分は、やっぱり、メネスのほうが、一瞬見た瞬間に暖ったかさが感じられる。マルタンは、噛めば噛むほど味が出てくるみたいな感じ。
FR　マルタンはアーチストだしね、完璧に。ネメスもそうだけど、違う系かな。
荒川　洋服のテクニックというところで、ネメスさんから勉強した部分は少なかったと思うんですけど、もっと洋服を作る前の段階の部分がすごく勉強になったかなって思います。
FR　最初の頃のコレクションでは、ネメスのくせみたいなものを取るのに苦労してますよね。
荒川　やっぱり影響された部分がすごくあって、そこから抜け出そうという、そういう意識があったんだけど。でも、よくよく考えてみると、人間って、やっぱり「好きなものは好きだ。」というのがあるじゃないですか。そういうのを、無理やり葛藤して、それじゃないものを作ろうと思っても、結局無理だったんですよ。例えば、生地とかも、一回エナメル素材とかビニール素材とかも使ってみたんですけど、それは多分何かから抜け出そうという部分もあったと思うんですよね。だけど、結局好きじゃないんですよ、そういう素材自体が。結局、作り上げても、納得できないし、そういうことやってストレス溜まってくるのもいやだなと。ネメスさんからの影響から抜け出そうという考えじゃなくて、今度はどこか自分を探していこうというのがあって。自分のネガティブな部分とか嫌いな部分とかも通して探していこうと思って。それは素っ裸にならないとだめだなと思ったんですけどね。他の人から影響を受けないで、自分のラインを作ろうとしたときに、よく電話で話しながら何か描いたりするじゃないですか、丸を書いたりとか。そういう意識の状態で、自分が何も意識せずに描く女の人の体というのを描いてみたんですよ。そして、そのラインそっくりそのままの形で服を乗せてみたんです。それは、自分は意識してないけど、１００パーセント自分のラインというのが出てきているから。そういう風にひとつのジャケットを探していったりとか、そういうところから抜け出すのに、けっこう色々やりました。今でもそうかもしれないけど。
FR　最近、吹っ切れた感じがありますよね。一時、ネメスから抜け出そうと思って、全然違うことやったり、でもやはり合ってなかったなという感じ

があったし。今は吹っ切れて、似るものはしょうがないしみたいな、その辺がすごくいい感じかなって思います。いま初めてその話を聞いて、影響といっても随分根本的なことだったので、抜け出そうとしても無理だなって思いました。もうちょっとデザイン的なことかなと思ってたのが、根本的なのコンセプトの部分だったので。人の体に合わせて作るとか、そこから否定しちゃうと何も出てこなくなっちゃいますよね。
荒川　ネメスさんはイギリス人じゃないですか。イギリスで２０数年間生き続けて日本に来たんですよね。自分は日本人で、日本で２０数年間生きて。洋服作る時に、その２０数年間に見てきたものというのが、出るじゃないですか、必ず。人柄とか。そう考えた場合に、ネメスさんが持っているカルチャーと自分が持っているカルチャーとは、根本的に全然違うものんだなというのが、一緒に話をしてても分かるし。仕事のやり方を見てても分かるし。あの人が好きなものと、自分が好きなものとが違うし。似ているかもしれないけど、どっかで根本的に違うんですよ。日本人特有の引っ込み思案のところが自分にはあるかもしれないけど、向こうはもっとラテンに近いし。イギリス人ってラテンではないけど、そっちに近い部分がちょっとだけ見えたりする。最初の話に戻るかもしれないですけど、自分がパリで始めたからと言って、フランス スタイルで向こうでやり続けていくっていうのは、根本的に不可能だし。フランスの人は、日本人の僕にそれは望んでいないんですよ。
FR　フランスに同化することを、フランス人は望んでない。日本人は日本。
荒川　なんで日本の文化を大切にしないんだ、日本人なのにって。言われたことは無いですけど、そういう感じを受けたんですよね。フランスの人というのは、自国の文化ということに対して、すごく重要に思ってるじゃないですか。そういう部分で、例えばパリコレっぽいものを、それが恰好良いからというだけでやっていると、すごく否定の目で見られる部分があったし。２年程前から、そういう考えが出てきて。コレクションに来てくださいってジャーナリストに電話した時に、「また、日本人か」って言われたんですよ。その当時、いろんな日本人がコレクションをやるようになってたし、日本にはお金があって、みんなお金を持ってきて、パリでコレクションをやって。カレンダーの中に日本人の数が急激に増えて。自分はフランスの学校を卒業して、フランスで始めたから、やはりフランス人的意識みたいなのがあるわけじゃないですか。でも、そういうことがあって気が付いたのは、フランス人的なものを押すんじゃなくて、もっと日本に帰んなきゃ駄目だって。日本の文化をもっと見て、日本というものを意識してもの作りをしていかない限り、本当に良いものはできてこないだろうし、向こうの人も、軽いやつという感じでしか見ない。「また、日本人か」というぐらいの感覚でしか見られない。自分の服を見てくれたわけでもないし、知っているわけでもないですけど、その時点で、既にそうなってしまっている。2年前に下北沢でショーをやった時に、パリコレをやっているデザイナーの荒川さんが東京でコレクションをやりました、という風に言われて、その時はそれがいやでいやで仕方なくて。普通に東京でコレクションをやっても、結局、そういうものがあとから付いてくるので。東京で何か始めるなら、自分らしい、自分にしかできない場所でって考えて、学生時代に4年間生活してきた下北沢でショーをしたんだけど。何かオリジナル性のあるやり方でやらないと、結局、パリコレデザイナーみたいなところばっかり注目されて、服を見てもらえない。
FR　でも、それをねらう人もいるよね。でもいやだったんだ。
荒川　だから表参道でやった鯉のぼりでは、自分の中の日本人意識みたいな部分を出して。前回の東大の寮でやったのコギャルのやつも、結果的にはタイムリーというか、そういうものになってしまったかもしれないけど、自分の中では、パリで出たおかげでそういうものが見えてきたというのもあって。
FR　コギャルだったのテーマ?
荒川　コギャルとIVルック。
FR　IVとコギャルだったんだ。面白い。
荒川　パリでやっていたおかげで、そういう部分がすごくクリアに見えてきたというのがあったから。最近は、もうずっとパリコレやめてるじゃないですか。パリが落ち込んでいるからパリを離れたとか、パリが面白くないとか、東京が楽しいからとか、そういうのではなくて。なんか、今はすごく東京が楽しいし、ここでのもの作りというのが、自分自身をより見付けられるというか、見てられるというか、余分なこと考えなくていいので。
FR　なるほど。余分なこと考えちゃうもんね、パリだと。
荒川　そういうこと考えなくてやれる場所というのが、今はここだから。もしかしたら、またパリに戻って何かやるかもしれないし。パリが不景気で落ち込んでいるとか、そういうのは、多分、フランス人自身はあまり気にしていないと思うんですよ。もちろん、本出しても売れなかったりとか、服作っても売れなかったりとかってあると思うんですけど。デザイナーは、ものを作っている本人はそういうことをあまり気にしてないと思うんですよ。もちろん、ビジネス的には気にするかもしれないですけど。それで離れてしまっ

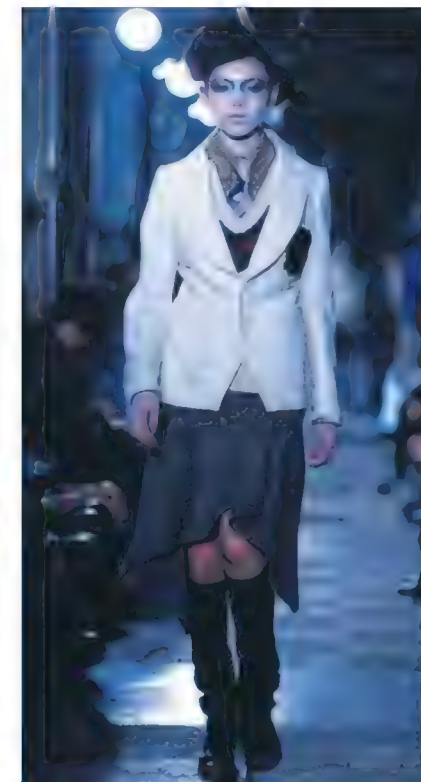
た人が、けっこう今はやばい状況になっているという現状があるじゃないですか。
ＦＲ　パリを離れた人？
荒川　ヘアメイクの人とか、カメラマンとか、ニューヨークが流行ってニューヨークに行ったりとか。ロンドンに行ったりとか。でも、結局、離れないで残ってたパリの人たちが、今の新たなパリを形成し初めているし。パリを出てしまっている人たちは、その中から消えちゃっている。自分は、ニューヨークでもなければロンドンでもないし、パリでもなくて、いま一番もの作りしやすいのは東京だから東京に来てるんです。
ＦＲ　最近は、ほとんど東京？
荒川　今年は東京。でも、やっぱり、パリにはゾエもいるし、スタッフもいるわけだし。多分、向こうで何かをやる時期というのが、また来ると思うんですけど。
ＦＲ　直営のお店もありますよね。
荒川　ギオームというプレスの男の子がいるんですけど、その子がプレス事務所でいろいろやってくれています。今度パリコレをやるときは、着物や伝統の日本文化じゃなくて、今の東京というか日本の空気が感じられるようなコレクションをやってみたいなと思っています。
ＦＲ　前回はテーマがコギャルだったみたいにですか。いいですね、コギャルを世界に。
荒川　１０月に、パリのコレットというお店でエクスポジションをやるんですけど。今回のホンダのコレクションとアニメーションで。タツノコプロの人たちとコラボレーションするんです。
ＦＲ　そういうのもやるんですか。
荒川　ソニーのウォークマンの中に、友だちのミュージシャンのカセットテープを入れたりして、自分達のイメージを作ってエクスポジションして。コレクションはやらないけど、そういったかたちで、自分が見る東京をパリで展示したりして。
ＦＲ　ホンダのは、面白い企画ですよね。本田からの依頼なんですか？
荒川　それも偶然の話で、うちのユカちゃんという、パリでスタージュやってた女の子がいるんですけど。彼女のお父さんが、ホンダのレーシングチームの監督で。Ｔシャツとか作んないっていう話をされたんですよ。でもＴシャツじゃおもしろくないから、やるんだったらちゃんと詰めてやりましょうって。で、ホンダの人と会って話をして、在庫があるからという話が出てきて。最初は、どこの若造が来たんだみたいな感じだったんですけど、コレクションをやって、ある程度向こうの人も納得してくれたみたいで。で、次のステップに進んだという感じで。
ＦＲ　今回はホンダにあったストックをリメイクした商品を作ったんですね。次はオリジナルの展開をするんですか。
荒川　多分、トレーナーとか、Ｔシャツとか、そんな感じだと思うんですけど。
ＦＲ　じゃ、このリメイク・シリーズは、けっこう貴重なものになりそうですよね。
荒川　なるのかな。
ＦＲ　なるんじゃないですか。どれかキープしとこうかな。（笑）まだ、店頭には並んでないんですか？
荒川　まだですね。秋からビームスで販売します。
ＦＲ　パリで１０月にその展示をやって、コレクションは東京でやるんですか？
荒川　１１月に東京コレクションで、自分なりの東京を意識したショーをやります。
ＦＲ　それは、すでに制作に入ってるんですよね。
荒川　入ってます。
ＦＲ　いま東京にお店のスペースを探してるんですよね。日本ではこれから本格始動ですね。楽しみにしています。
（連絡先：03-3350-1205　）

シンイチロウ アラカワからの

プレゼント

●ホンダのＴシャツ（ストリート編集室バージョン）　５名
――サイズはレディースサイズです。

ご応募方法　はがきに「シンイチロウアラカワ・プレゼント希望」と書いてご応募下さい。
宛先　〒150　東京都渋谷区恵比寿西1-16-8-501　ストリート編集室
締め切り　１０月２０日

P49　のアンケート
Tシャツ：BLUR（新宿 HMVで購入）
パンツ：SHINICHIRO ARAKAWAで始めて日本生産ラインにのせたコットンのパンツ
シューズ：アディダス スーパースター
ファッションのポイント：？
美容室：スタッフやスタッフの友人、近所の理容室
シンイチロウ アラカワ（30才）、デザイナー

シンイチロウ アラカワ '97-'98 Autumn Winter Collection

シャツ：イエロールビーで
パンツ：リーバイス 575
シューズ：バンズ（自分でペイント）
美容室：ソラリス
好きな音楽：テクノ
19才、専門学校生

??? このGパンはどうなってるの ???
--- キズは画鋲等でつけた。白いのはスプレーペンキ。自分で破った。---

ベスト：自作
スカート：自作
帽子：ラフォーレ地下
美容室：SHIMA
村山晶子（18才）、専門学校生

ファッションのポイント：西海岸（OLD SCHOOL）
美容室：ビバーチェ
好きな音楽：自分のバンド
20才　ピアッサー

ファッションのポイント：ハセにもらったパンツ
美容室：ミラクルコントロール
今ハマッている事：犬のさんぽ
好きな音楽　なんでも

パンツ：クラッチ
シューズ：パルコpart1（1F）で
ファッションのポイント：原色

パンツ：はるばる屋
帽子：はるばる屋
ファッションのポイント：暑いのにむりやりスカ
今ハマッている事：ハーブを吸う
好きな音楽：ゴアトランス、テクノ
20才、大学生

ャツ：ミルクホーイ
ハンツ：クリストファー ネメス
シューズ：O.D.O.B
ファッションのポイント：アクセサリーと靴、シャツの色を[illegible]した
美容室：VOLUME
今ハマッている事：写真とること
好きな音楽：パンク、ロック
19才、浪人生

シャツ：アルゴンキン
パンツ：バツ クラブ
シューズ：ラフォーレで
美容室：VOLUME
好きな音楽：きよはるさん大好き♡
MAY（19才）、専門学校生

シャツ：彼女のママの
パンツ：クリストファー ネメス
シューズ：ジョージ コックス
ファッションのポイント：普通
美容室：彼女
好きな音楽：小室ファミリー
SYUN（19才）、大学生

シャツ：アルタで買った
スカート：栄養失調の勃起
シューズ：じいちゃんのやつ
アクセサリー：髭とヴィヴィアンと自作
バッグ：宇宙百貨で
ファッションのポイント：ちょい日本みたいな
美容室：2030
今ハマッている事：リストバンド作り
好きな音楽：ヒーリング
18才、専門学校生

シューズ：ハ
バッグ：OLIVE des
ファッションのポイント：
美容室：モッズヘア
今ハマッている事：ダーリン
好きな音楽：おしえない
ことえ（19才）、販売員

パンツ：ミラクル
シューズ：20471
バッグ：ミルクボー
ファッション
美容室：GI
今ハマッ
音楽

パンツ：クリストファー ネメス
ファッションのポイント：ネクタイ
美容室：VOLUME
今ハマッている事：部活
16才、高校生

120
ナカノ
LY BUTTON
ポイント：つの
LOVES BOY
今ハマッている事：部活（バスケット）
16才、高校生

親戚からもらった
ーオール：ワイズ
ーズ：BELLY BUTTON
：姉の物
ァッションのポイント：パンクっぽいモード
容室：姉の美容室
今ハマッている事：ドラえもん（Japan）と家の美容室
好きな音楽：R&B
いっせー（16才）、高校生

Devilock

シャツ：ビューティービースト
パンツ：J.P.ゴルチエ
シューズ：BELLY BUTTON
髭、アストア ロボット
女の子っぽく
今ハマッている事：ヘアピンで女の
好きな音楽：テクノ、パンク
：I.S.
：サディス
ーズ：コ

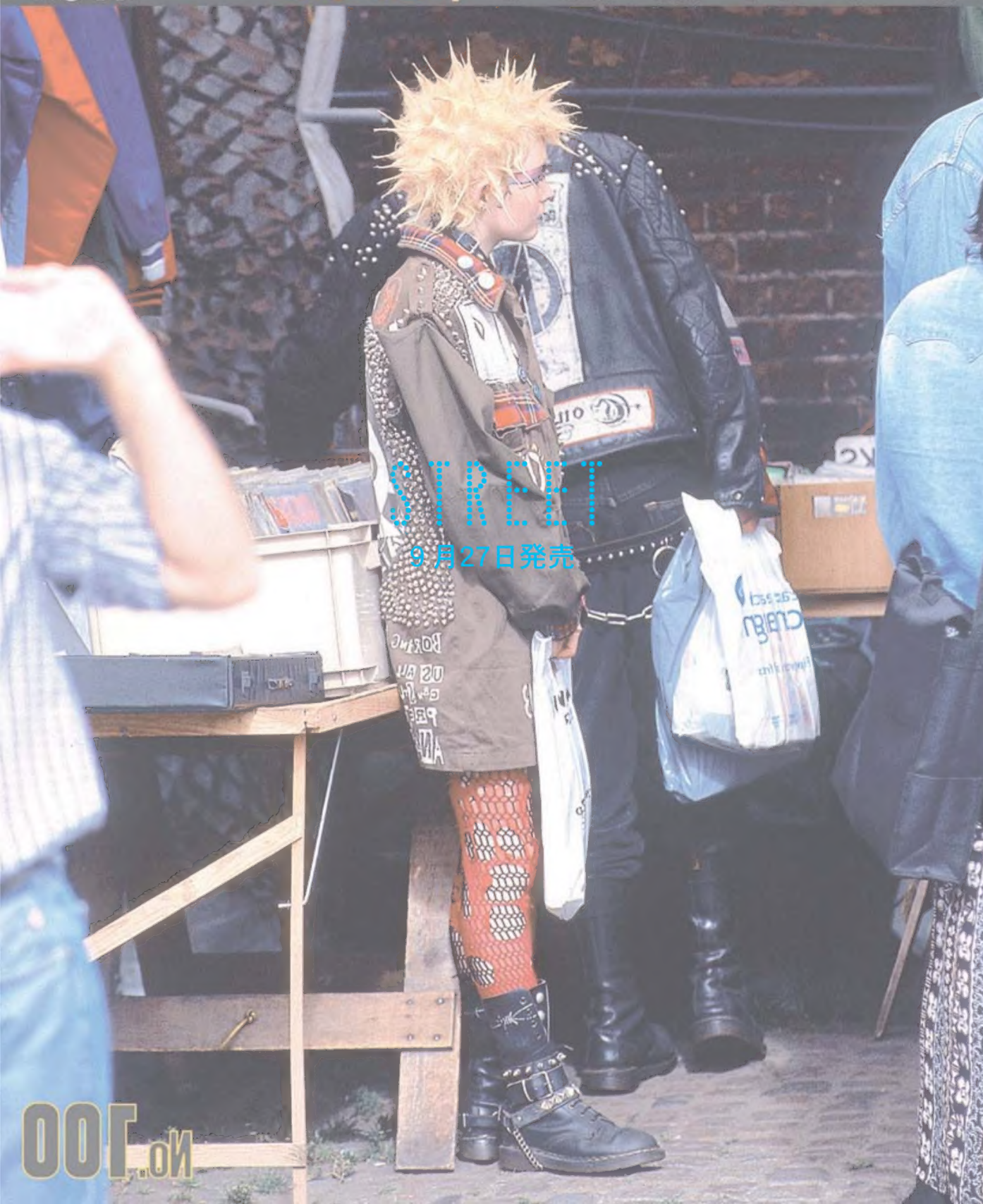
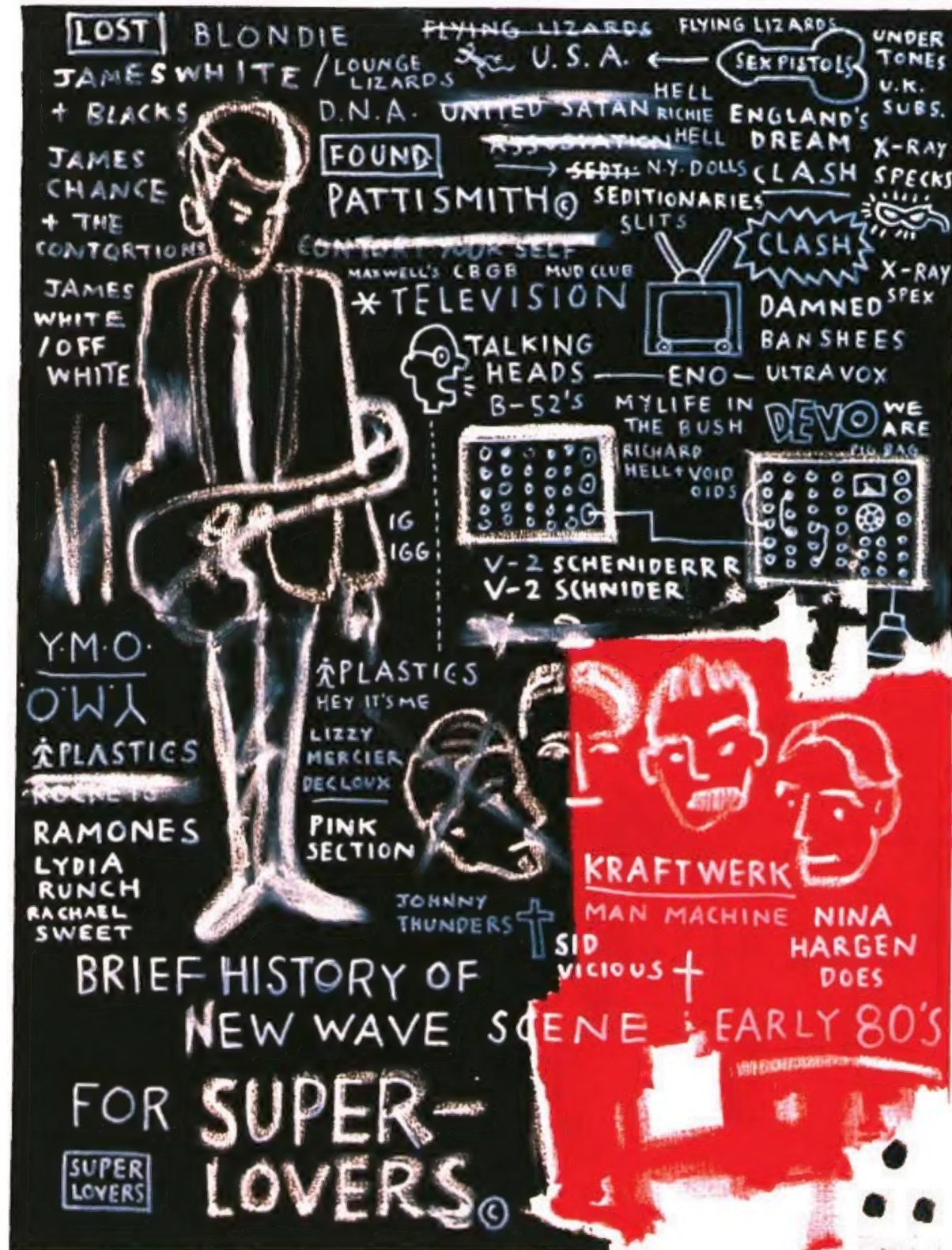
シャツ：ヒステリックグラマー
パンツ：パラドックス
シューズ：NIKE
ファッションのポイント：てきとー
美容室：友達
今ハマッている事：音楽、映画
好きな音楽：パンク、ハウス、テクノ
18才、フリーター

シャツ：ミルク
オーバーオール：クリストファー ネメス
シューズ：ジョージ コックス
バッグ：ミルクボーイ
ファッションのポイント：ないです
美容室：自分で
今ハマッている事：服を作る
好きな音楽：SKA
18才、大学生

シャツ：ミルク
オーバーオール：古着（シカゴで）
シューズ：ゲッタグリップ
バッグ：O.[illegible].O.B
ファッションのポイント：特になくてはずかしい。首のスカーフがポイント
美容室：友達
今ハマッている事：愛
好きな音楽：スカ、パンク
19才、専門学校生

ジャケット：コム デ ギャルソン（ピンは自分で）
シャツ：古着（シカゴ）
スカート：自作
シューズ：BELLY BUTTON
ファッションのポイント：宗教
美容室：VOLUME
今ハマッている事：原宿と雑誌「FRUITS」
好きな音楽：女性シンガー
デビル（17才）、高校生

ブラウス ：ヴィヴィアン ウェストウッド
パンツ：自作
シューズ：地元の岡田屋で
ファッションのポイント：騎士
美容室：GIRL LOVES BOY
今ハマッている事：マックのおもちゃ集め
好きな音楽：パンク
たま（15才）、高校生

シャツ：ヴィヴィアン ウェストウッド
パンツ：マサキ マツシマ
シューズ：マサキ マツシマ
帽子：ロボット
ファッションのポイント：アクセサリーたち
美容室：VOLUME
今ハマッている事：まったり
好きな音楽：まったり音楽
イヌ（18才）、専門学校生

シャツ：ツモリ チサト
パンツ：オゾン コミュニティー
シューズ：ノーネーム
ファッションのポイント：特にないです
美容室：町田のカットモデルで
好きな音楽：ロック、ブラジル、ラテン
スー（22才）、販売員

ファッションに関すること、
人生に関すること、
相談事募集

ご意見、
ご感想の手紙
募集

次号予告
10月23日
発売予定
原宿フリースタイル
インタビュー　etc.

アンケートは、自己申告を
そのまま掲載しています
ので、まちがっていること
もあります。

載っている服は、今販売して
いないことの方が多いと思います
ので、メーカーに問い合わせると
きは、ご注意ください。

バックナンバーの問い合わせが
殺到してます。書店にて
取り寄せてもらってください。
（創刊号は売れ切れです。
それから申込の際、号数を
まちがえないようにね。）

こんなページを作ってほしい
こんな企画をしてほしい
募集

こんなものが流行ってるとか、
こんなことに凝ってるとか、
これが面白いよとか、
今これに注目とか、
ニュース募集
（会社の方、デザイナー等の方々へ：
プレスリリース等いただいておりますが、
編集企画が合った場合に
ご連絡させていただきます。
ご了承ください。）

Fruitsは月刊です。
毎月23日前後に
発売です。

EDIT: Noriko KOJIMA
編集発行人・青木正一
発行所・ストリート編集室
東京都渋谷区恵比寿西1-16-8-5F　〒150
Tel.(03)3463-2190　Fax.(03)3463-2191
THE STREET EDITORIAL OFFICE
1-16-8-5F, EBISU-NISHI, SHIBUYA-KU, TOKYO, JAPAN